

みんなで考えると みんなのものになる！

市民主体の計画づくり

市民のみなさんの生活に関する各種計画を、
みなさんと一緒に作り上げていくことを目指します！



広報ナビゲーター
ケーテンガーナ

50年で4万人も増えた！

ながくての人口は、昭和44(1969)年に1万人、平成元(1989)年に3万人を超えて、今は、約5万7千人になったんだよ。この50年の間に、一気に4万人もの人口が増えたんだね！

でも、ご近所づきあいは？

みんなはご近所の人とお知り合いののかな？このままだと、地震が起きた時に、みんなで協力して助け合うことは、とっても大変だよ～。防災のことだけでなく、これからのまちづくりには、みんなで協力し合うことがすごい大事なんだよ。



まちのことを「じぶんごと」に

みんなのつながりをつくるきっかけとして、計画づくりに参加しませんか？計画づくりに参加することは、まちの将来のことを考えることだから、まちのことに興味を持ってくれるよね！それに、計画づくりに集まった人たちが知り合うと、つながりが生まれるよね。

まちの未来を語り合おう！

「こんなこと言ったら場違いかな」と気遅れするっていう人もいるかもしれないけど、実はそのひと言が大切だったりするよ。



ぜひ、関心のある計画づくりにいっしょに参加してみませんか。



市がこれまで計画づくりに取り組んで、悩んでいること

- ① 参加者が、なかなか集まらない。
- ② 参加者の顔ぶれは、いつも同じ。
- ③ どうしたら市民のみなさんに参加していただけるのか？
- ④ 大勢の市民を集めるにはどうしたらいいか。



まちに関心を持ってもらうためには、自分たちが暮らしている地域
(例えば、小学校区別)での話し合いの場が必要！

